

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画重点事業 進捗確認シート

事業名	担当課	第2期環境基本計画 事業実績 施策推進に係る取組内容				第3期計画策定に向けて	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性
1 太陽光発電設備設置の推進	環境課	・太陽光発電設備の導入を支援 107件 上限 6万円/件(補助率10%) ・太陽光発電設備の導入を支援 27件 上限 16万円/件(補助率 10%)	・太陽光発電設備の導入を支援 6万円/件	・太陽光発電設備の導入を支援 6万円/件	・太陽光発電設備の導入を支援 6万円/件	住宅における太陽光発電設備の導入として、設置可能な既存住宅については概ね設置されたものと思われる。	固定価格買取制度等の国の方針の変化、また、新築住宅における標準化の傾向等を踏まえた見直しを予定。
2 「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用促進	環境課	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用促進や充電設備の普及促進、EVを活用した観光キャンペーン等を実施した。	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用促進や充電設備の普及促進、EVを活用した観光キャンペーン等を実施する。	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用や充電設備の普及を促進する。	電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の参画者と連携し、行動計画「おかげさまAction!」に基づく、次世代自動車の利用や充電設備の普及を促進する。	協議会参画者の電気自動車の導入、公共機関としての電気バスの導入、電気自動車等を活用した観光プランの作成など、一定の成果を得て、協議会はH30年度末に解散した。	世界的にもガソリン車から電気自動車へのシフトが加速してきており、引き続き、電気自動車のさらなる普及の為、イベント等でPRしていく必要がある。
3 エコドライブの推進	環境課	市民向けと市職員向けにエコドライブ講習会を実施した。 (市民向け2回、市職員向け3回)	市民向けと市職員向けにエコドライブ講習会を実施する。 (市民向け3回、市職員向け3回)	市民向けと市職員向けにエコドライブ講習会を実施する。 (市民向け2回、市職員向け3回)	市民及び市職員を対象としたエコドライブ講習会を開催する。 (年4回)	実技講習もある体感型の講座であり、受講者は約25%の燃費改善が見られる。受講後の実践、積み重ねが見込まれれば、大きな効果が期待できる。	引き続き実施する。
4 燃えるごみの減量	清掃課	市民においては、生ごみ処理機の利用や水きりによる減量化、資源物の適正分別排出、事業者においては、生ごみ処理機および再生事業者を利用した生ごみの堆肥化等による減量化などの取組についての啓発・支援を行った。	市民においては、生ごみ処理機の利用や水きりによる減量化、資源物の適正分別排出、事業者においては、生ごみ処理機および再生事業者を利用した生ごみの堆肥化等による減量化などの取組についての啓発・支援を行う。	市民においては、生ごみ処理機の利用や水きりによる減量化、資源物の適正分別排出、事業者においては、生ごみ処理機および再生事業者を利用した生ごみの堆肥化等による減量化などの取組についての啓発・支援を行う。	市民においては、生ごみ処理機の利用や水きり、食品ロスの削減による減量化、資源物の適正分別排出、事業者においては、生ごみ処理機および再生事業者を利用した生ごみの堆肥化、食品ロスの削減等による減量化などの取組についての啓発・支援を行う。	燃えるごみの量は減少しているが、目標値に達していない。	更新が予定されているごみ処理施設の整備計画にも多大な影響を及ぼすため、さらなるごみの減量・資源化に関する事業を展開していく。
5 動植物の生息・生育状況の把握	環境課	生物多様性に関する研修による職員の人材育成及び他機関の情報収集及び連携を図った。	生息状況の把握と外来生物を除去することを目的にため池の池干しを実施する。	生息状況の把握と外来生物を除去することを目的にため池の池干しを実施する。	河川における生物多様性の保全のため、外来生物を除去する。	市職員の理解を深める為、環境省の協力を得て、庁内研修を行った。また、関係者との連携を図りながら池干しを実施した。	事業の認知度向上、取組の継続・充実に向け、目標を明確化するため、取り組みの積み重ねが必要。
6 公共下水道・合併処理浄化槽の整備推進	環境課	浄化槽の設置に対して補助金を交付した。	浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	公共下水道供用済み区域以外の区域において、合併浄化槽の設置適正管理を促進するため、浄化槽の設置費用の一部の補助を行った。	今後も継続して合併処理浄化槽の設置に対する補助金を交付する。
	上下水道総務課	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図った。	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。	計画通り下水道工事を実施し、目標値を達成することができた。	引き続き下水道事業計画区域内の整備を進め、普及率の向上を図る。

(参考) 第2期伊勢市環境基本計画重点事業 進捗確認シート

事業名	担当課	第2期環境基本計画 事業実績 施策推進に係る取組内容				第3期計画策定に向けて		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	本事業の総括評価 (成果、課題等)	今後の方向性	
7	農村地域の共同活動の強化	農林水産課	農業・農村地域における草刈りや、泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行った。	農業・農村地域における草刈りや、泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行う。	農業・農村地域における草刈りや、泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行う。	農業・農村地域における草刈りや、泥上げ等の共同活動や景観形成作物の植栽等の農村環境活動等に対し活動を行っている地域で設立した活動組織に対し支援を行った。	活動組織数が目標値に届かなかった。組織数の増加に向け、推進活動内容の検討が必要。	今後も継続して事業を実施し、新たな活動予定組織に対し、事業の推進活動を行いたい。
8	空き家対策の推進	建築住宅課	・空き家等対策計画の策定 「空き家等対策の推進に関する特別措置法」施行に伴い、「空き家等対策計画」を28年度を目標に策定するため、市内の空き家実態調査を実施した。	・空き家等対策計画の策定 空き家調査の結果を踏まえ、「空き家等対策計画」を28年度末に策定する。また、計画については、設置する協議会に諮り策定する。	伊勢市空き家等対策計画に基づき、空き家所有者等に適正な管理を求めていく。また、空きバンクを創設するとともに、県外からの移住を促進し、市内空き家の利活用を推進していく。	伊勢市空き家等対策計画に基づき、空き家所有者等に適正な管理を求めていく。また、空きバンク制度を活用しながら、県内外からの移住及び市内空き家の利活用の促進を図っていく。	空き家等の除却・管理件数が目標値を大きく上回ったことから、啓発や指導等において、一定の効果はあったと考える。	市内の空き家は、人口減少や少子高齢化に伴い、今後増加することが見込まれるため、適正管理及び市内への移住を併せた利活用等の啓発を継続し、空き家対策の推進を図る。
9	環境教育の促進	環境課	・民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施した。	・民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	・民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	・民間事業者や大学と連携し、小中学生を対象に環境教育の出前講座等を実施する。	環境教育の出前講座等は、実施した児童、先生にも好評いただいている。一部講座は申込制限の必要もでてきており、実施体制やメニューの充実が求められている。	講座内容の質的向上、提供企業等の新規開拓等により充実を図る。
			・伊勢市環境会議が主催とする水生生物による水質調査等の出前講座を実施した。	・伊勢市環境会議が主催とする水生生物による水質調査等の出前講座を実施する。	・伊勢市環境会議が主催とする水生生物による水質調査等の出前講座を実施する。	・伊勢市環境会議が主催とする水生生物による水質調査等の出前講座を実施する。	・伊勢市環境会議が主催する水生生物による水質調査といった自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施した。	
	学校教育課	・全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組を実施 ・環境教育、環境保全の取組、環境集会の実施 ・環境保全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・伊勢市環境会議による出前講座の実施	・全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境保全の取組、環境集会の実施 ・環境保全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・伊勢市環境会議による出前講座の実施	・全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境保全の取組、環境集会の実施 ・環境保全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・伊勢市環境会議による出前講座の実施	・全小中学校による学校環境デー(6月5日)の取組 ・環境教育、環境保全の取組、環境集会の実施 ・環境保全活動に取り組む地域企業の出前講座等の活用 ・伊勢市環境会議による出前講座の実施	・小中学校においては、家庭や地域と連携して環境デーや環境教育の取組を進めている。 ・出前講座の活用については、環境教育や環境保全等の理解を深めることができ、一定の成果がある。しかし、企業や関係機関等の実施数や受け入れ規模が影響することもある。	・各小中学校における環境教育の実施については令和5年度まで継続実施の予定。 ・出前講座については、地域企業だけでなく、関係機関等も含め活用していきたい。	